

# 2021年3月期 決算説明資料

---



2021年5月11日

東証一部 7187

## はじめに／社長あいさつ

P. 3

## 通期業績及び計画

2021年3月期業績

P. 4 ~ P. 5

事業ポートフォリオ

P. 6

四半期業績の推移

P. 7

主な指標（当社KPI）

P. 8 ~ P. 9

2022年3月期業績予想

P. 10

配当予想

P. 11

## 成長戦略

成長投資の進捗及び計画

P. 12

中期計画

P. 13

当社が共創したい未来

P. 14

ジェイリース株式会社、社長の中島です。

まずもちまして、この度の新型コロナウイルス感染症で被害に遭われました皆様にご心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。また、医療従事者の皆様をはじめ保健・感染防止にご尽力されている関係者の皆様に最大の敬意と深い感謝を申し上げます。

当社はコロナ禍で浮き彫りになった社会課題を事業機会として捉え、各種の業務改善と新商品開発を通じて収益の大きな改善を実現しました。その結果、2021年3月期は過去最高の業績を更新し、2022年3月期においても過去最高を更新する見通しであります。加えまして、配当におきましては2021年3月期の復配に続き、2022年3月期は増配を計画しております。

今後、先行きの見えづらい環境に対応し、各種保証サービスの提供を通じてより多くの方々の笑顔をつなぎさらなる成長を図ってまいります。

皆様におかれましては引き続きのご支援を重ねてお願い申し上げます。

代表取締役社長



売上、利益ともに過去最高を更新

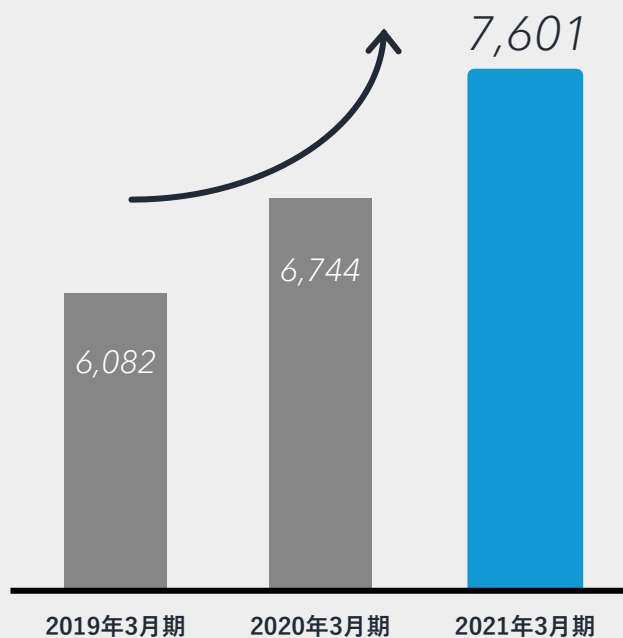
売上高



7,601百万円

前年同期比 +12.7%

(百万円)



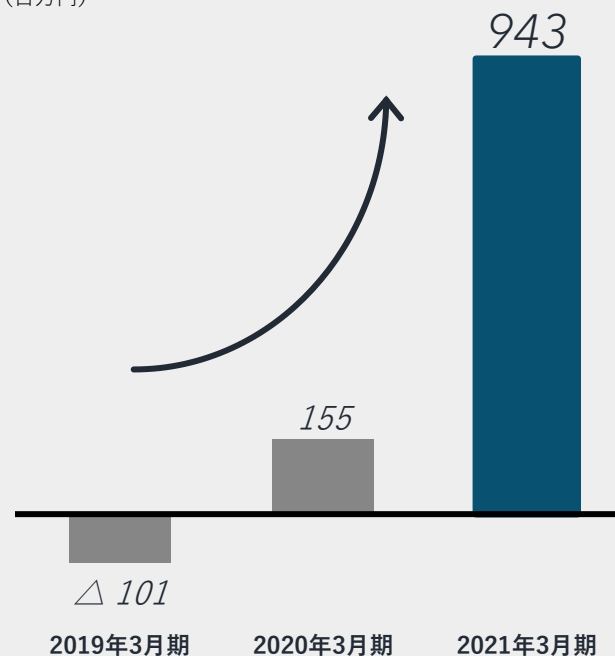
営業利益



943百万円

前年同期比 +506.8%

(百万円)

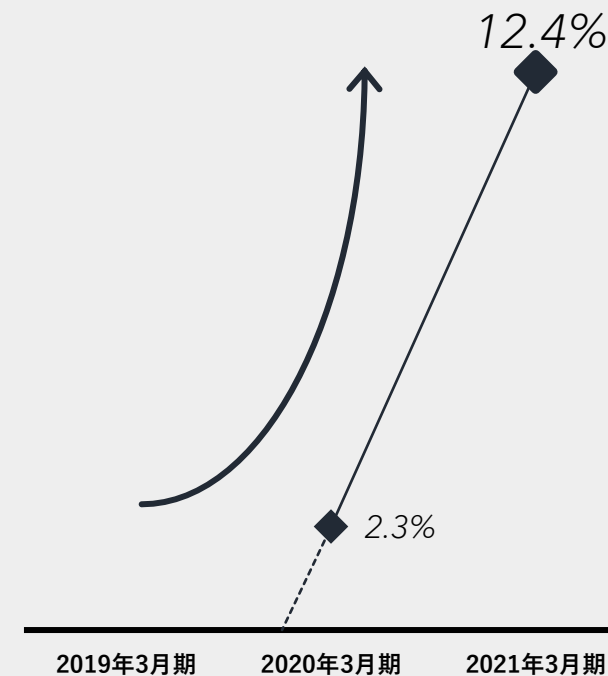


営業利益率



12.4%

前年同期比 +10.1ポイント



# 03. 業績サマリー（通期）

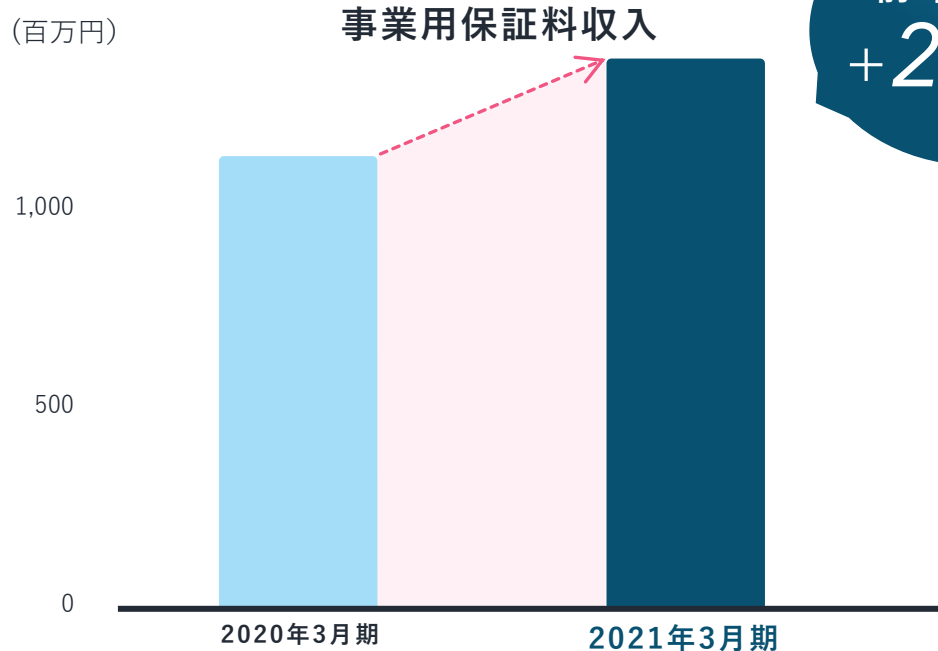
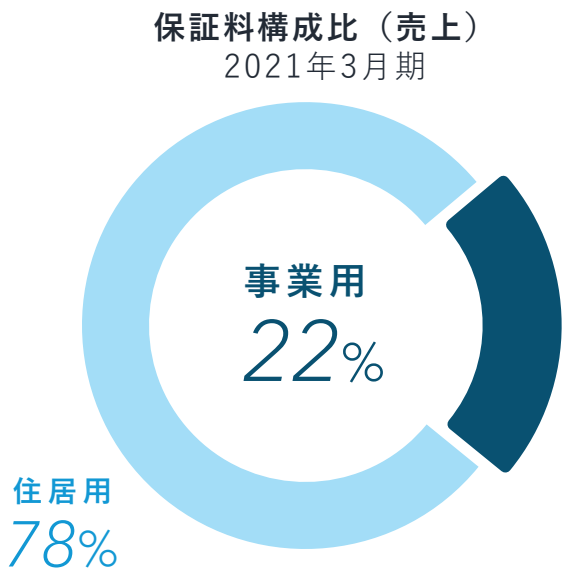
売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに過去最高を更新

(百万円)	2020年3月期	2021年3月期		前年同期比	会社計画比
	通期実績	通期実績	会社計画		
売上高	6,744	7,601	7,500	+12.7%	+1.4%
営業利益	155	943	840	+506.8%	+12.4%
営業利益率	2.3%	12.4%	11.2%		
経常利益	105	911	800	+759.9%	+13.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	24	552	500	-	+10.5%

- 財務体質の健全化により復配を実施
- 各種施策等により、営業利益及び営業利益率は過去最高を更新し、営業キャッシュ・フローは黒字転換。（847百万円のプラス）
- 売上高は会社計画を上回って推移（新規契約、継続保証料に加え、事業用保証が堅調に推移）
- 貸倒コスト、債権管理業務コストの抑制（与信審査の強化、債権管理業務の強化）

# 04. 事業ポートフォリオ

事業用保証を成長分野と見据え、積極的な営業を推進



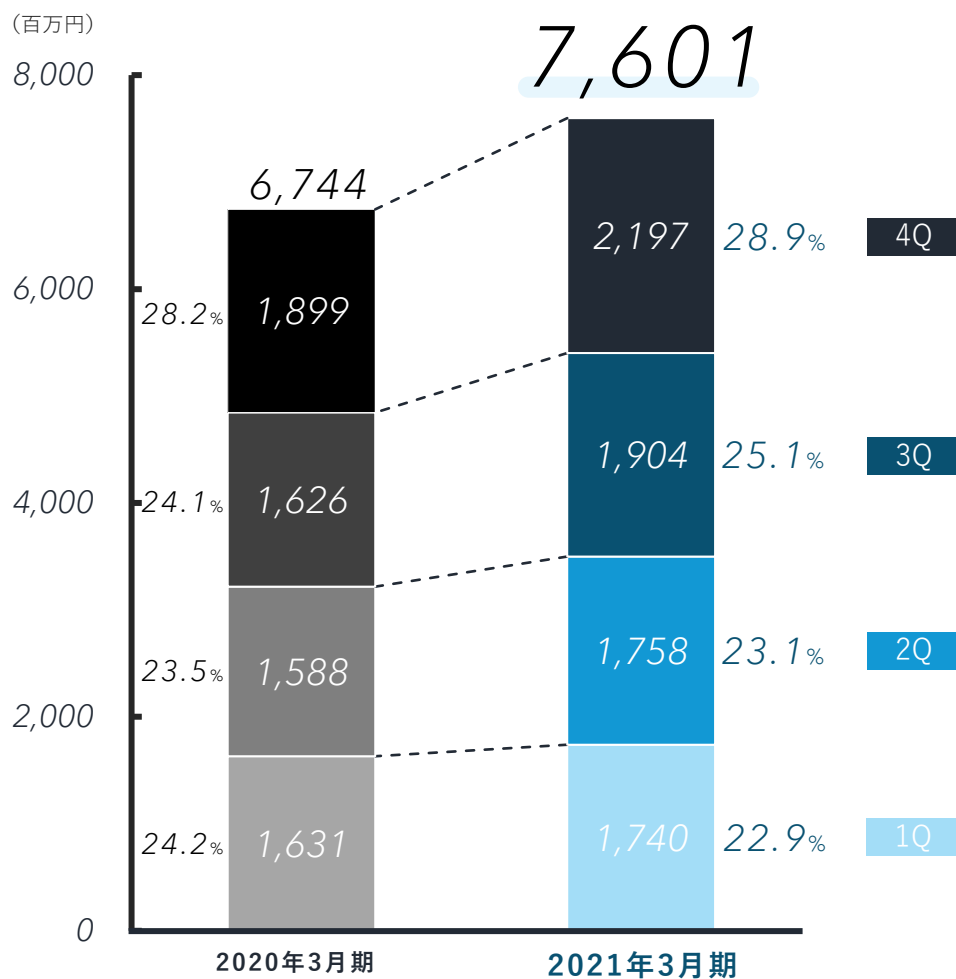
前年同期比  
**+21.9%**

- 不動産業界では、賃貸物件の流動性が向上しているほか、貸主のリスクマネジメントに対する意識変化も追い風となった
- 事業用保証は営業エリア・商品ラインナップの拡充を背景に大幅拡大
- **事業用賃貸契約における保証契約の利用率は低く、拡大余地が大きい**
- 住居用、事業用ともに自社データを活用することで保証ストックの質を維持・向上

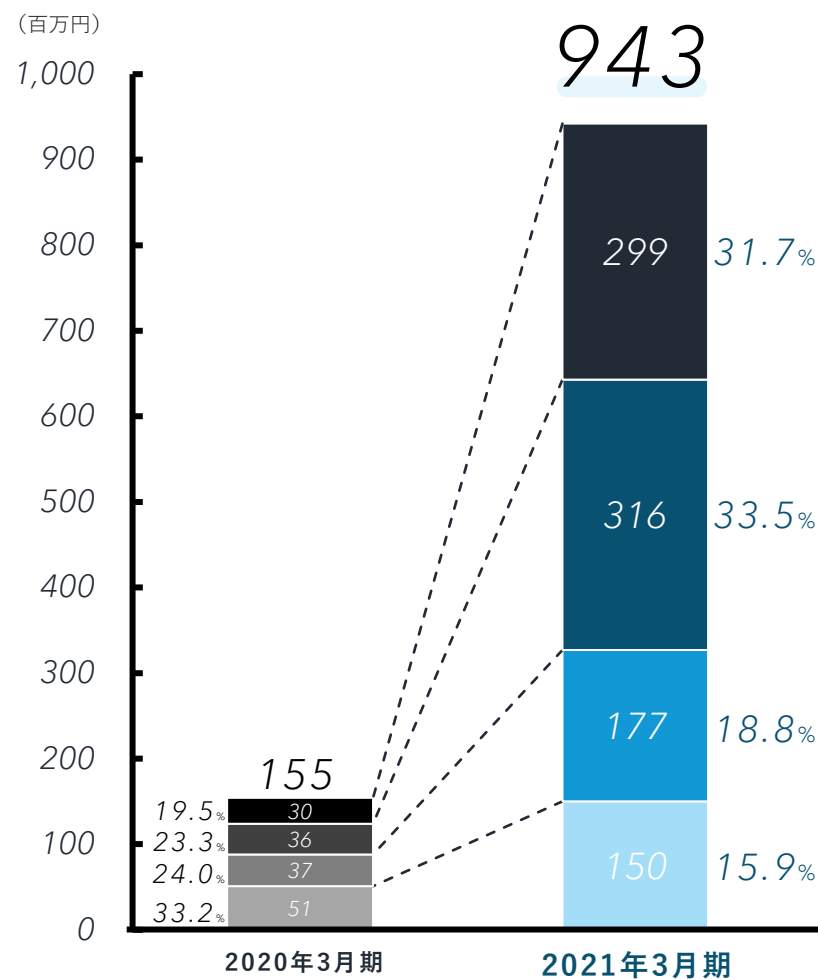
# 05. 四半期業績の推移

- 事業用保証の拡大によって四半期ごとの売上及び営業利益の平準化を進める

## 売上高 (四半期別業績推移)



## 営業利益 (四半期別業績推移)



# 06. 主な指標（当社KPI）

## 代位弁済発生率の低下及び回収率の向上

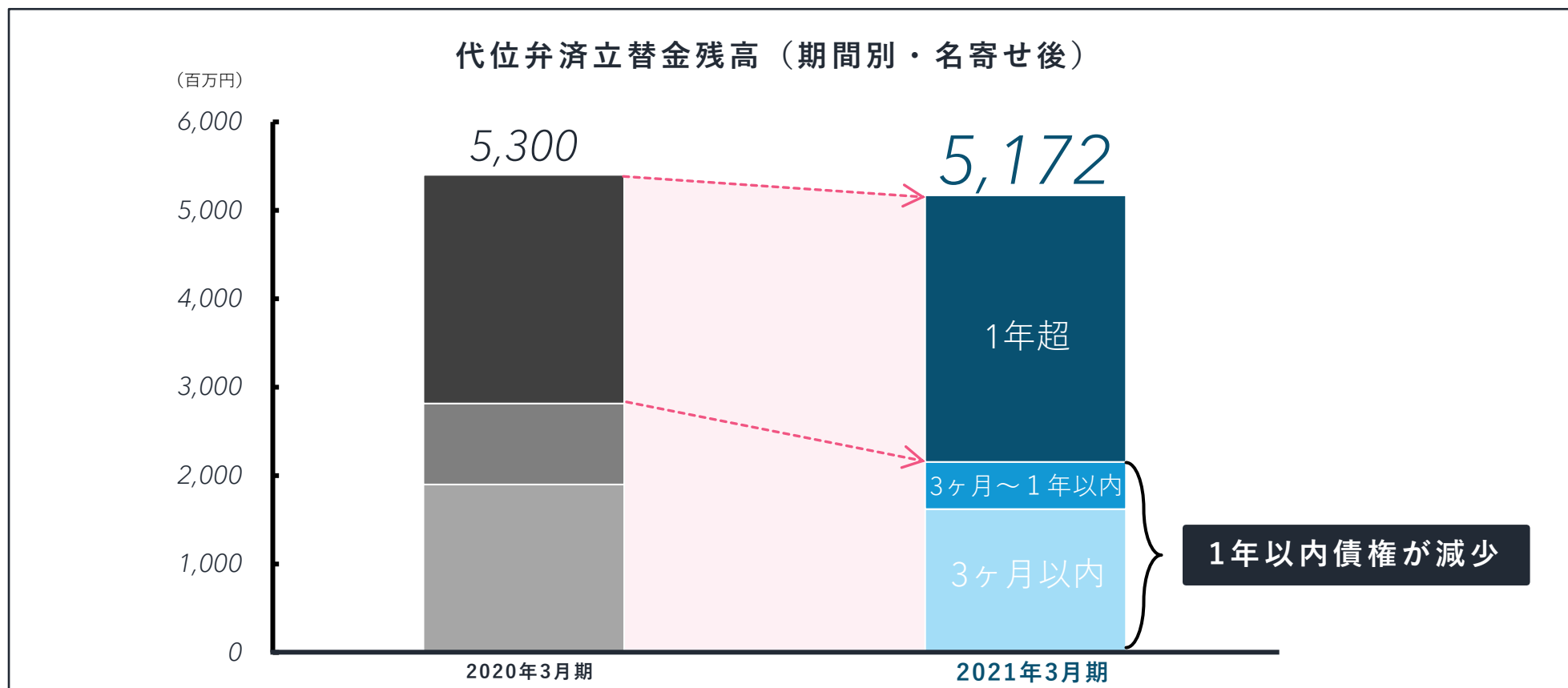
- 独自のデータベース活用により、代位弁済発生率が前期比0.9ポイント改善
- 債権管理業務の強化・効率化により、代位弁済回収率が前期比0.9ポイント改善

（保証関連事業）		2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績
不動産会社協定件数（千件）		17	18
申込件数（千件）		180	195
保証賃料月額（百万円）		28,835	32,711
代位弁済	発生率	7.2%	 6.3%
	回収率	97.2%	 98.1%
店舗数（店）		25	26
従業員数（名）		326	329



# 07. 代位弁済立替金の状況

- **代位弁済立替金残高が減少**  
 独自データの活用による**代位弁済発生率の低下**及び債権管理業務の効率化による**回収率向上**が寄与
- 1年超は増加しているものの会社計画を下回る水準で推移
- 貸倒引当金は、監査法人とも連携しリスクを踏まえた適切な処理



## 2022年3月期も過去最高業績を計画

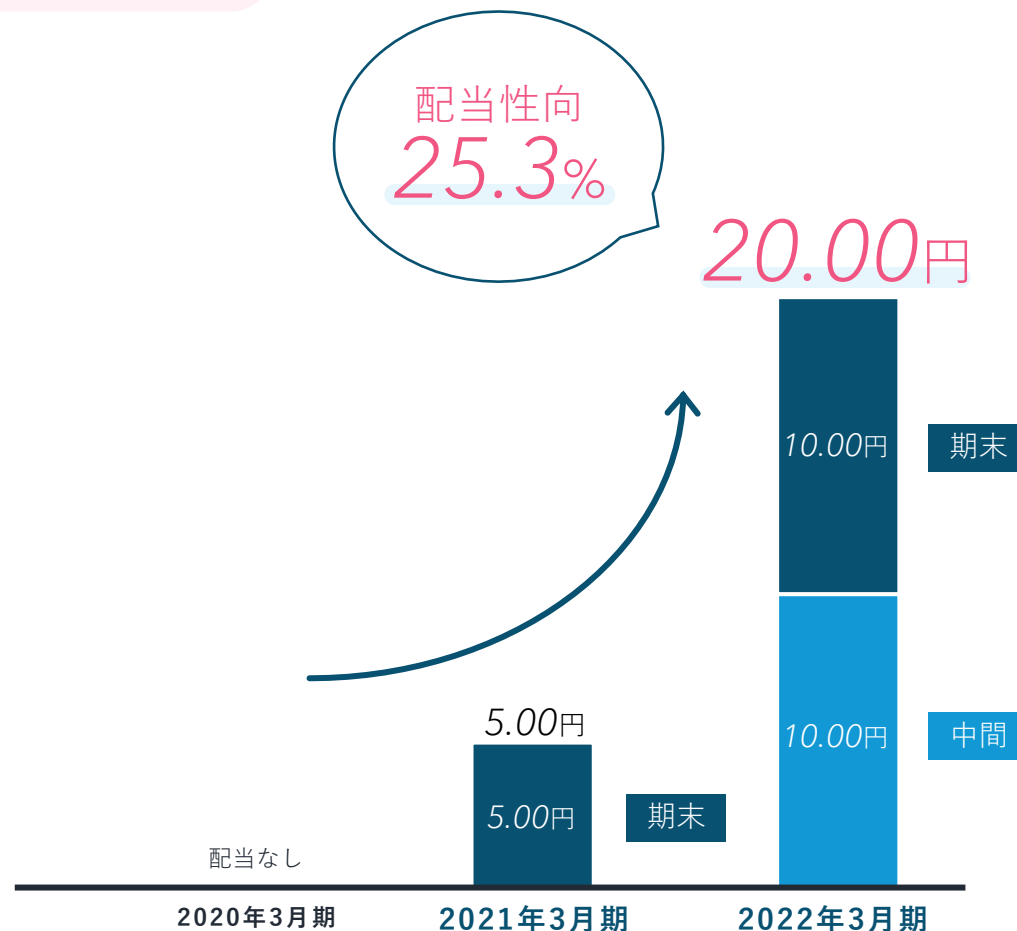
<2022年3月期業績予想> (百万円)	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期計画	増減率
売上高	7,601	8,500	+11.8%
営業利益	943	1,200	+27.1%
営業利益率	12.4%	14.1%	-
経常利益	911	1,170	+28.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	552	700	+26.7%

- 一人当たり労働生産性の向上を目指し組織再編。新規出店は年間2～4店舗を計画し、売上高は二桁増で過去最高を計画
- 足もと4月、5月業績も好調に推移しているものの、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、各KPIは保守的に設定。代位弁済発生率は、6.6%（前期6.3%）、同回収率は97.0%（前期98.1%）を計画。営業利益、営業利益率も過去最高を更新する見通し。
- 中期的な成長を見据えた『人材』『独自データ』『DX』への投資を継続

# 09. 配当予想

## 復配から増配へ

- 好調な業績を背景に、2021年3月期末より復配を実施。  
2022年3月期は年間配当20円（中間10円、期末10円）
- 成長投資とのバランスを勘案しながら一段の株主還元も視野に。  
（配当性向目安の切り上げなど）
- 2021年3月期末より長期的な個人株主との関係強化を見据え、株主優待制度をプレミアム優待倶楽部に変更。



※期末配当は、6月開催の定時株主総会に付議予定

# 10. 成長投資の進捗及び計画

領域	項目	進捗	今後の計画
内部体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 財務報告に係る内部統制の一層の強化</li> <li>(2) IT統制、コンプライアンス体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査法人との一層の連携強化</li> <li>・全社員へのコンプライアンス研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新CGコードへの対応</li> <li>・コンプライアンス研修の継続実施</li> </ul>
人	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 人材の育成・強化</li> <li>(2) 人材の戦略的配置（採用と異動）</li> <li>(3) 等級・報酬・評価制度の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事制度改革プロジェクト進行中</li> <li>・2021年4月に東西支社体制、法人営業統括部等、戦略的組織に改編</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人事制度への随時移行</li> <li>・社員教育研修の強化</li> <li>・営業戦力強化及び地域密着の深化による顧客獲得と定着</li> </ul>
データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 家賃債務保証分野における拡大</li> <li>(2) 医療費保証分野における拡大</li> <li>(3) 異業種とのアライアンスによる新たなビジネス展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規契約の拡大</li> <li>・与信審査、顧客データの分析</li> <li>・新事業分野、アライアンスの拡大</li> <li>・保有情報のデジタル化推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独自のDWH<sup>(※)</sup>構築 既存分野+新規分野による情報量増加 独自データの開発 データの年間増加率20%前後</li> </ul> <small>※高度なデータ分析のためのデータベース</small>
DX	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 業務プロセス改革（電子化・Web化・自動化）</li> <li>(2) 各種データの統合管理</li> <li>(3) 与信管理システムの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子契約、Web申込の導入（複数先との提携拡大）</li> <li>・自動与信審査システム開発中</li> <li>・リモート業務への各対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務効率化の進展</li> <li>・各種データ分析の高度化</li> <li>・審査精度の向上</li> <li>・営業キャッシュフローの拡大</li> </ul>

# 11. 中期計画

	2024年3月期（3期後） 中期計画	
売上高	100億円以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コロナ等の不確定なリスクを考慮し中期計画の予想にレンジを設けている</li> <li>● 新規出店は年2～4店舗を計画し、更なる地域密着の促進と全国ネットワークの完成を急ぐ</li> <li>● 代位弁済発生率・回収率は、与信審査・体制強化等により現水準を維持</li> <li>● 従業員数は、DX投資・効率化により微増程度</li> </ul>
営業利益	15～20億円	
営業利益率	15～20%	

- 営業ネットワーク拡充、事業用保証の拡大等により、**売上高の年間増加率10%**を目指す
- 独自データ拡充、分析強化による与信審査の高度化・自動化、人材育成、業務効率化により**営業利益率15～20%**を目指す
- 利益成長による財務体質（自己資本比率等）の改善
- 積極的な株主還元（**配当性向20%超**を維持・向上）

# 12. 当社が共創したい未来

ジェイリースは『**笑顔をつなぐ**』会社です。  
保証を通じて社会の安心を共創します

当社は事業を通じてゴール11「住み続けられるまちづくりを」をはじめとする持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献します



## IRに関するお問い合わせ先

ジェイリース株式会社 経営企画部

電話：03-5909-1245

E-mail：ir@j-lease.jp

URL：https://www.j-lease.jp

本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。